PRESS RELEASE
報道関係者各位

2026 年 11 月 18 日
株式会社アイリッジ

【生保 41 社調査】サイト可読性「満点」の 2 社でも AI 指名スコアは約 9 倍の開き。技術対策だけでは選ばれない実態

AI 検索実態調査 生命保険編として、3 つの生成 AI への 1,788 回の質問で全 41 社を横並び検証。
7 割の会社で案内に「販売終了商品」が混ざるリスクも浮き彫りに

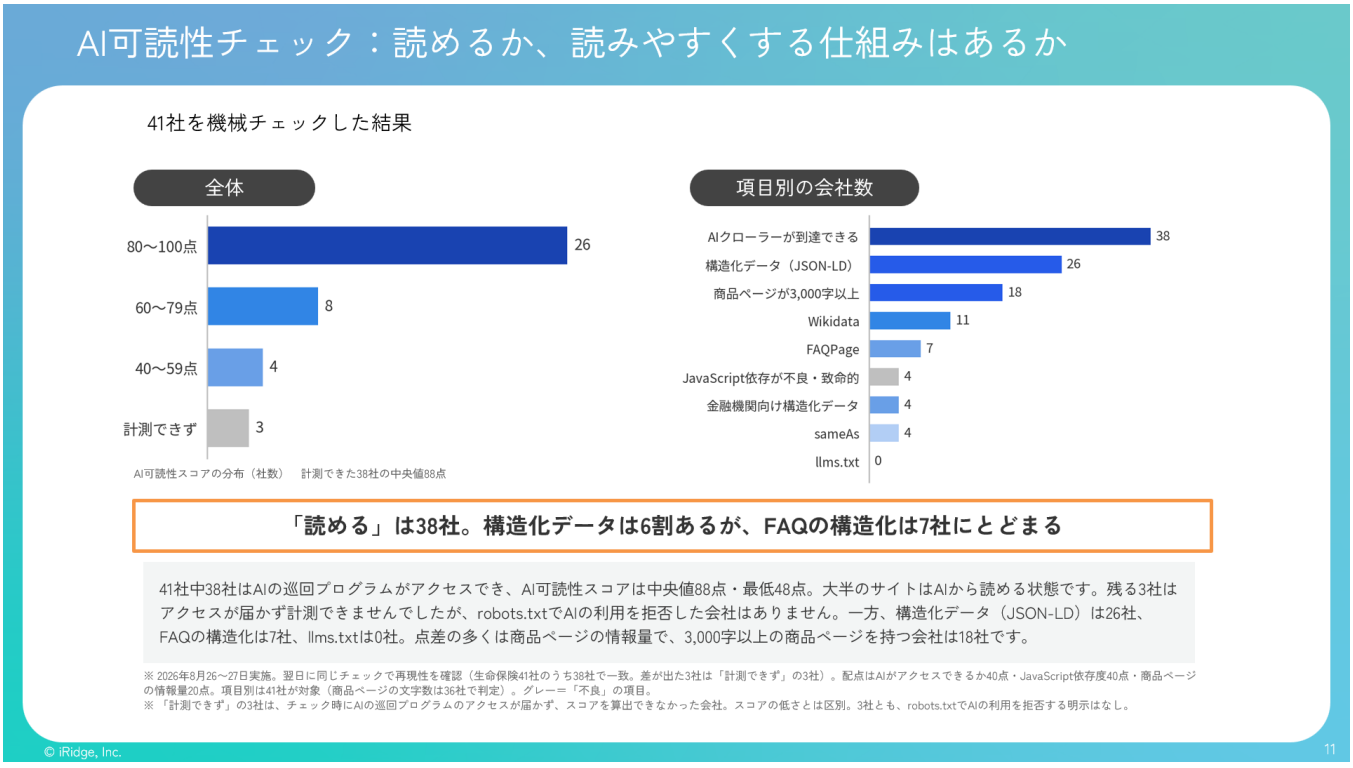
店舗集客や販促を目的とした企業の OMO アプリ開発やマーケティング支援、ソリューション導入において 300 以上の実績を持つ株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、生命保険協会に加盟する生命保険会社 41 社（全数）を対象に「AI 検索実態調査 2026 生命保険編」を実施し、調査結果をまとめました。

本調査では、ChatGPT・Gemini・Perplexity の 3 つの生成 AI に対し計 1,788 回の質問を実施。①AI がサイトを読めるか（可読性）、②AI に正しく伝わるか（正確性）、③AI に選ばれるか（推奨性）の 3 軸で、生命保険会社 41 社を同一条件・横並びで評価しました。

調査結果ダイジェスト

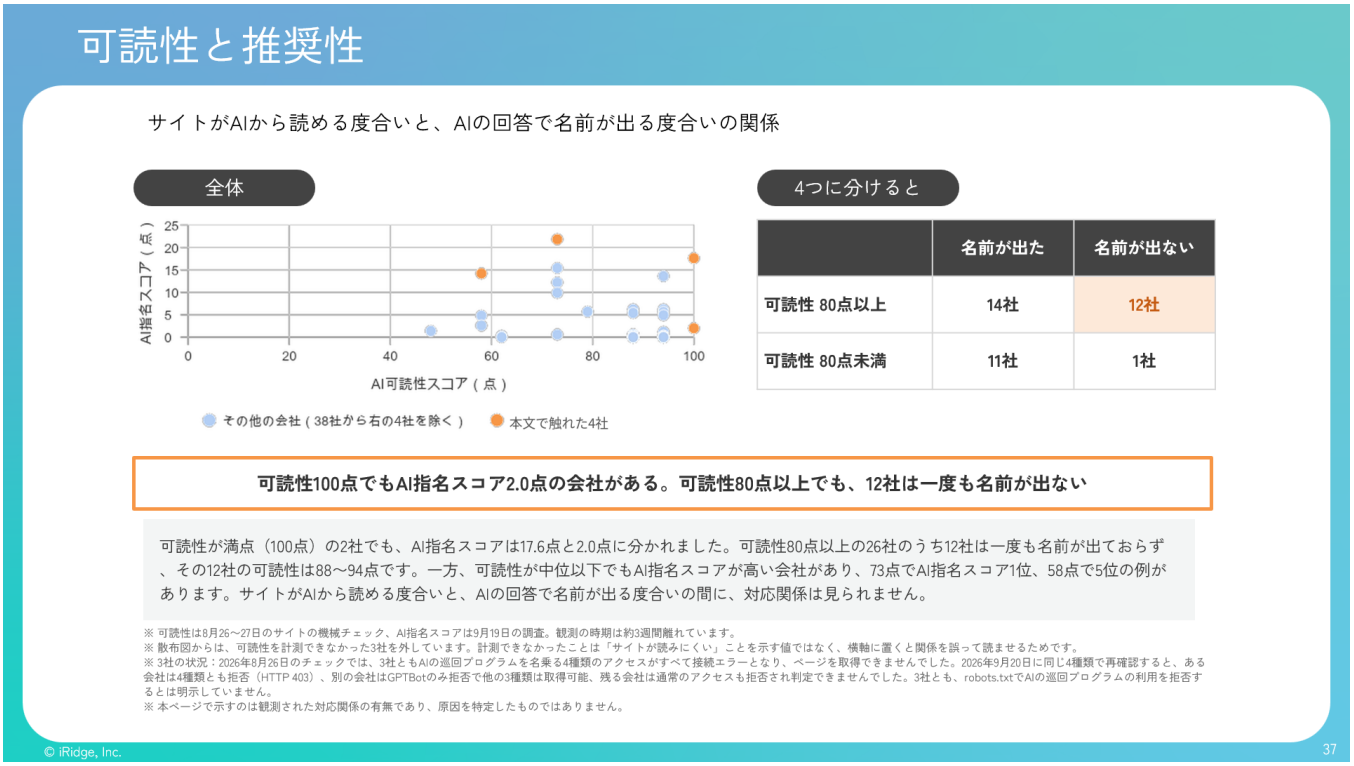
- 【可読性】AI が読めるサイトは 9 割超の一方、可読性と AI の指名は連動しない事実が明らかに
- 【正確性】約 7 割の会社で「販売終了商品」が案内に混入、リスクは社内外の双方に
- 【推奨性】「保険見直しの相談先」で保険会社の実名はゼロ、乗合代理店・FP が 100%独占

■ 【可読性】AI が読めるサイトは 9 割超の一方、可読性と AI の指名は連動しない事実が明らかに



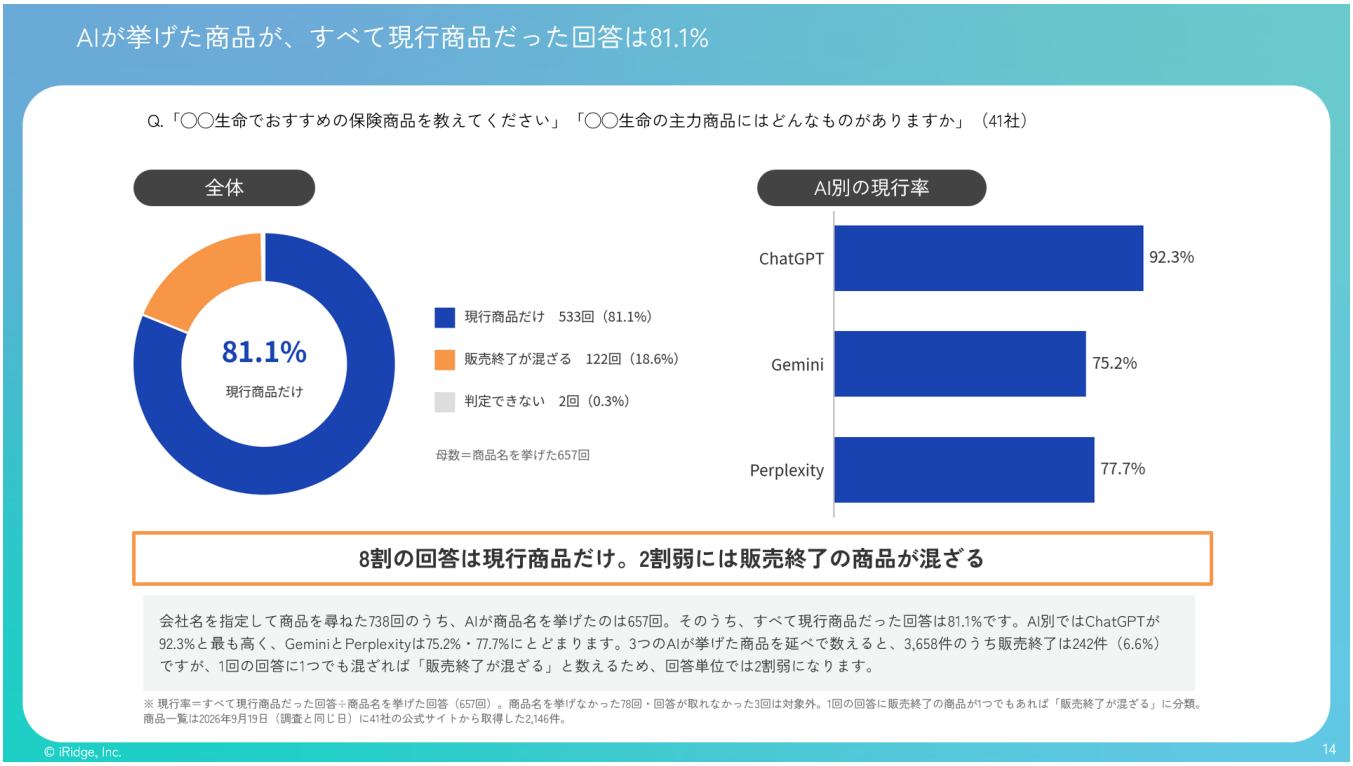
生命保険協会加盟 41 社の公式サイトを機械チェックした結果、38 社（92.7%）は AI の巡回プログラム（クローラー）がアクセスでき、AI 可読性スコアの中央値は 88 点（100 点満点、最低 48 点）と、大半のサイトは AI から読める状態でした。

一方で、AI に対して自社の情報を正確に理解させる仕組みである「構造化データ（JSON-LD）」を導入している会社は 26 社、FAQ 構造化対応は 7 社にとどまりました。



さらに、サイトの可読性と AI の推奨傾向を比較したところ、可読性スコア 80 点以上の 26 社のうち 12 社は、後述する保険の種類別質問において AI から一度も名前が挙げられていませんでした。可読性満点（100 点）の 2 社でも AI 指名スコアに約 9 倍の開き（17.6 点と 2.0 点。17.6÷2.0＝8.8 倍）が出るなど、単に可読性対策だけでは、AI からの推奨を獲得できない実態が明らかになりました。

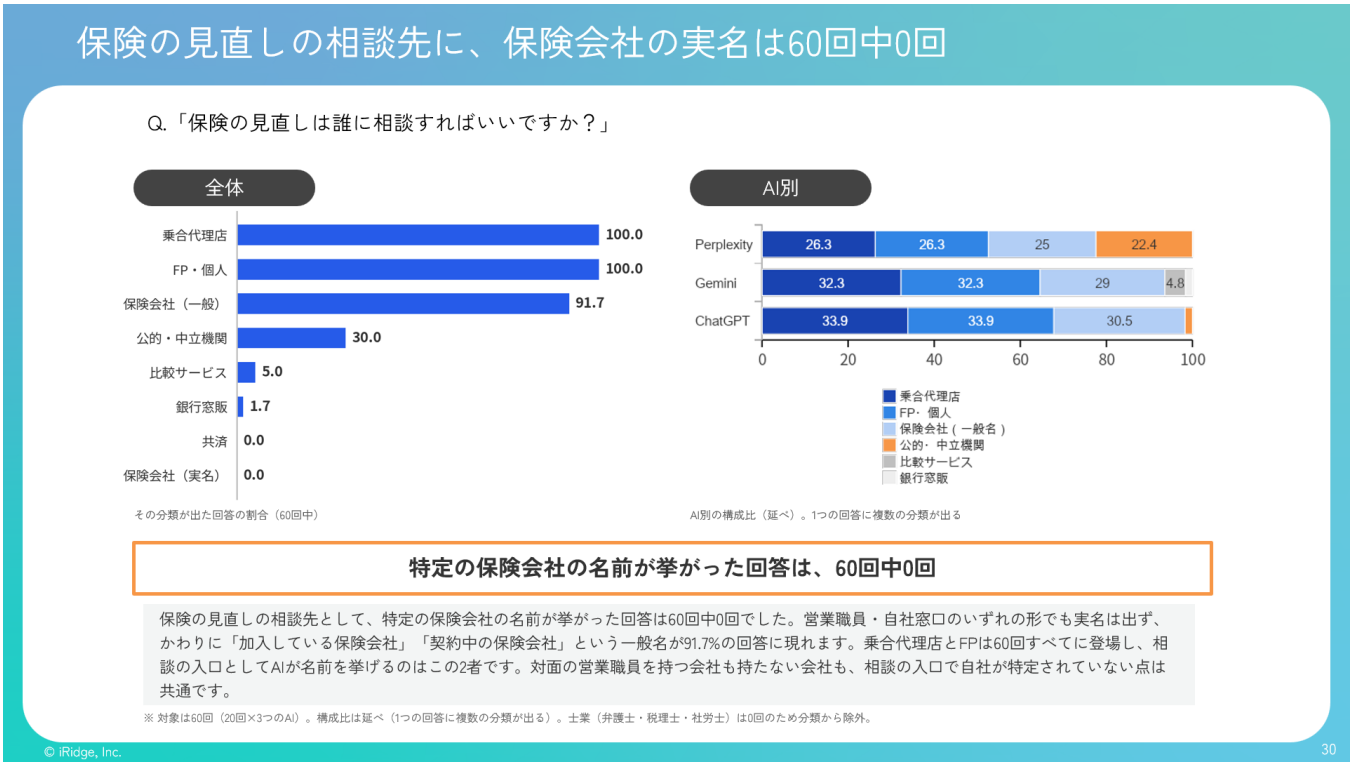
■ 【正確性】約 7 割の会社で「販売終了商品」が案内に混入、リスクは社内外の双方に



各生命保険会社の社名を指定して主力商品やおすすめ商品を尋ねた 738 回の質問のうち、AI が商品名を挙げたのは 657 回。この回答を公式サイトから取得した商品一覧（2,146 件）と照合しました。その結果、AI が挙げた商品がすべて現行商品だった回答は 81.1%にとどまり、2 割弱の回答に販売終了商品が混ざっていました。社数ベースで比較可能な 36 社で見ると、約 7 割にあたる 25 社において、案内に販売終了商品が混ざる結果となりました。すべて現行商品のみで案内された会社は 11 社でした。

AI（ChatGPT・Gemini）が挙げた販売終了商品 36 件について、AI が根拠とした引用元ページを確認したところ、約半数にあたる 17 件は「自社サイトに残っていた古い情報（販売終了商品のページや既契約者向けの利率・価格ページ等）」を参照していました。また、36 件中 9 件は自社サイトではなく、比較サイトや保険メディアに残る古い情報を AI が使っていました。自社サイトに残る過去ページの商品情報を AI が参照していた実態と同時に、外部メディア上の古い情報も誤案内の要因となっています。

■ 【推奨性】「保険見直しの相談先」で保険会社の実名はゼロ、乗合代理店・FP が 100%独占



生活者が保険の見直しを検討する場面を想定し、「保険の見直しは誰に相談すればいいですか？」と AI に質問したところ（計 60 回）、特定の生命保険会社の実名が挙がった回答は 0 回でした。回答の 100%に乗合代理店および FP（ファイナンシャルプランナー）が登場し、AI における相談の入口は代理店や中立窓口に独占されています。生命保険会社については 91.7%の回答で「加入している保険会社」等の一般名詞で言及されるのみで、対面営業職員や自社窓口チャネルを持つ会社であっても、AI 上では相談先として特定されていません。また、「30 代女性におすすめの生命保険は？」といった年代・属性のみを指定した質問（4 問）でも、AI は保険の選び方の説明にとどまり、生命保険会社の実名は一切出ませんでした。

保険の種類を指定した質問（医療・がん・学資など 6 種類 7 問）における「AI 指名スコア（100 点満点換算）」でも、1 位の会社で 21.8 点、41 社の中央値は 0.9 点と低く、13 社は一度も名前が挙がりませんでした。一方で、就業不能保険（1 位 88.9 点）や学資保険（1 位 77.8 点）は少数の会社への集中が顕著で、それぞれ 33 社・35 社が一度も名前が出ませんでした。すべての分野で勝つことは難しくても、特定の保険種類で高い AI 指名スコアを得ている会社もある実態が確認されました。

コメント

検索エンジンから生成 AI へのシフトに伴い、顧客が保険商品を検討する際の入り口は「検索結果のリンク一覧」から「AI が要約して提示する会社名・商品名」へと激変しています。

本調査で浮き彫りになった最大のリスクは、自社サイトに残る過去の古いページが原因となり、AI が販売終了商品を現行商品として案内してしまう「情報鮮度の管理不全」です。これは見込み顧客の離脱や誤認を招く直接的な機会損失となります。

また、相談窓口の質問において生命保険会社の実名が完全に埋没している現状は、従来の直販チャネルやブランド認知だけでは AI 時代の顧客接点を維持できないことを示唆しています。自社サイトの情報を AI が誤読しないようデータを整備・最新化するとともに、特定の強み部門において「AI に選ばれる根拠」をい

かに Web 上に構築していくかが、今後のデジタルマーケティングにおける不可欠なテーマとなるでしょう。

■ ホワイトペーパーのダウンロード／個別分析シートのご案内

本調査の全編は、以下の URL より無料でダウンロードいただけます。また、各生命保険会社様向けに、自社の「AI 指名スコア」や順位、AI が自社について回答した内容（抜粋）、案内された商品の現行・販売終了の内訳などが詳細にわかる個別分析シートをご用意しております。AI 検索における自社の現状把握や具体的な改善対策を検討されたい担当者様は、下記よりお気軽にお申し込みください。

・ホワイトペーパーダウンロード： https://iridge.jp/content/report_ai-search-2026-life-insurance/

調査項目

①AI から読めるか（可読性）
- AI 可読性チェック
- AI 可読性スコアランキング

②AI に正しく伝わるか（正確性）
- 商品情報の現行率
- 情報正確性ランキング
- AI が根拠にした引用元
- AI が引用した外部サイトランキング

③AI に選ばれるか（推奨性）
- 保険種類別の AI 指名スコア・1 番手率
- AI 指名スコアランキング
- 保険見直しの相談先
- 顧客像別（年代・家族構成）の回答傾向
- 会社を限定しない質問での推奨傾向
- 否定的な文脈での回答傾向
- 可読性と推奨性の関係

調査概要

調査名	AI 検索実態調査 2026 生命保険編
調査対象	生命保険協会に加盟する生命保険会社 41 社（全数）
対象 AI	ChatGPT（chat-latest）、Gemini（gemini-2.5-flash）、Perplexity（sonar） ※いずれも API 経由、AI が Web を調べて答える設定、位置情報なし
調査期間	サイト機械チェック：2026 年 8 月 26～27 日／AI への質問実施：2026 年 9 月 19 日（計 1,788 回。再現性テストは 9 月 20 日にも実施）／商品情報取得：2026 年 9 月 19 日（公式サイト掲載の 2,146 件）／アクセス再確認・引用ページの確認：2026 年 9 月 20・28 日 ※質問 1,788 回のうち回答が取得できたのは 1,785 回（99.8%）。未取得の 3 回はいずれも ChatGPT の会社別質問

株式会社アイリッジ 概要（https://iridge.jp/）

株式会社アイリッジは、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO（Online Merges with Offline）支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS 等の DX を推進しています。アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」をはじめ月間アクティブユーザー数 1 億超のプロダクトを提供するとともに、グループ会社の Qoil と連携したビジネスプロデュースにより、戦略立案から開発、マーケティング施策までを一気通貫で支援します。

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社アイリッジ　広報担当　Email：pr@iridge.jp　TEL：03-6441-2325